

授業科目名	授業形態	単位数	担当教員名
保育・教職実践演習(幼)	演習	2単位	宇賀神 一・岡田 強志・園田 雪恵 田中 麻紀子・林 幹士・藤本 明美

【ディプロマポリシーとの関連】

<認知的領域(思考・判断)>

4. 自ら設定した課題について、保育学・教育学・心理学・社会学などの研究方法を用いて考察することができる。

<技能・活動的領域(技能・表現)>

5. 子どもの感性や個性を大切に育てるための保育に関する(音楽・造形・体育など)の実践力を身につけている。

6. 子ども学ゼミや実習指導によって習得した技能を保育・教育の現場に用いることができる。

【授業のテーマ及び到達目標】

授業のテーマ

本学の保育者養成の理念に基づき、保育者養成課程の他の授業科目の履修や教職課程外のさまざまな活動を通して身につけた資質能力が、保育者としてどのように生かされていくのか、保育者としての知識・能力・実践的指導力などがどのように身につけてきたのか最終確認をする。

到達目標

- ・保育者として、自己にとって何が課題であるのかを判断できる。
- ・保育者として身につけた知識や技術を用いて保育を実行できる。

【授業の概要】

授業の目標を達成するために、①教員・保育士の使命や子どもへの責任の理解、②社会人としての基本、③子どもの発達や心身の状況、④子どもを一つの集団としてまとめていく方法、⑤保育・教育の専門知識、⑥保育・教育の指導法、⑦保育・教育を行う上での基本的な表現力、⑧保育・教育現場の課題などについて取り扱う。授業方法としては、講義・グループ討議・事例研究・役割演技(ロールプレイング)等を取り入れ展開する。

【全体の授業計画・内容】

1. イントロダクション –これまでの「学び」をふり返って–

事前学修課題: シラバスを熟読し、関係した情報を収集する。【2時間】

事後学修課題: 配布された資料を各自でまとめて理解する。【2時間】

2. 指導案作成について

事前学修課題: 指導案を作成するための準備をしておく。【2時間】

事後学修課題: 作成した指導案に基づき必要なものを準備する。【2時間】

3. 教員・保育士の使命や子どもへの責任の理解について

事前学修課題: 事前に配布された資料を読んでおく。【2時間】

事後学修課題: 授業内容についてまとめる。【2時間】

4. 社会人としての基本

事前学修課題: 事前に配布された資料を読んでおく。【2時間】

事後学修課題: 授業内容についてまとめる。【2時間】

5. 子どもの発達や心身の状況について

事前学修課題: 事前に配布された資料を読んでおく。【2時間】

事後学修課題: 授業内容についてまとめる。【2時間】

6. 保育・教育の指導法について

事前学修課題: 事前に配布された資料を読んでおく。【2時間】

事後学修課題:授業内容についてまとめる。【2時間】
7. 保育・教育の専門知識 事前学修課題:事前に配布された資料を読んでおく。【2時間】 事後学修課題:授業内容についてまとめる。【2時間】
8. 保育・教育現場の課題 事前学修課題:事前に配布された資料を読んでおく。【2時間】 事後学修課題:授業内容についてまとめる。【2時間】
9. 模擬保育(0歳児) 事前学修課題:事前に配布された資料を読んでおく。【2時間】 事後学修課題:模擬保育についてまとめる。【2時間】
10. 模擬保育(1歳児) 事前学修課題:事前に配布された資料を読んでおく。【2時間】 事後学修課題:模擬保育についてまとめる。【2時間】
11. 模擬保育(2歳児) 事前学修課題:事前に配布された資料を読んでおく。【2時間】 事後学修課題:模擬保育についてまとめる。【2時間】
12. 模擬保育(3歳児) 事前学修課題:事前に配布された資料を読んでおく。【2時間】 事後学修課題:模擬保育についてまとめる。【2時間】
13. 模擬保育(4歳児) 事前学修課題:事前に配布された資料を読んでおく。【2時間】 事後学修課題:模擬保育についてまとめる。【2時間】
14. 模擬保育(5歳児) 事前学修課題:事前に配布された資料を読んでおく。【2時間】 事後学修課題:模擬保育についてまとめる。【2時間】
15. 試験およびまとめ 事前学修課題:これまでの授業で学んだことをまとめる。【2時間】 事後学修課題:保育者としての課題を明確にする。【2時間】
<b>【学習のあり方】</b> 授業前に当日の課題・テーマについて、自分自身の考えを整理しておくこと。各自の課題を持ち、授業に参加すること。模擬保育にむけては、自分で工夫しながら、実習記録や指導案を立ててみる。授業後に当日の発表内容とディスカッションの内容を確認し、それに対する自分の考えをまとめておくこと。授業を通して自分の課題を確認し、勉強を重ねていく。
<b>【成績評価】</b> レポート(60%)・指導案の作成を含む模擬保育(20%)・平常試験(20%)
<b>【課題(試験・レポート等)に対するフィードバックの方法】</b> レポートについてコメントをつける。模擬保育を実施し、模擬保育についてのコメントを伝える。
<b>【テキスト】</b> 文部科学省「幼稚園教育要領」「小学校学習指導要領」厚生労働省「保育所保育指針」 岡本 幹彦他『福祉施設実習ハンドブック』みらい 久富 陽子他『幼稚園・保育所実習 指導計画の考え方・立て方』萌文書林

**【参考文献】**

適宜紹介する。

**【実務経験の有無】**

児童養護施設における保育者としての経験をいかし、施設における保育者としての実践的な学びについて指導する。(岡田)

幼稚園教諭としての経験をいかし、保育者としての実践的な学びについて指導する。(園田)

幼稚園教諭としての経験をいかし、保育者としての実践的な学びについて指導する。(田中)

学童保育所における保育者としての経験をいかし、施設における保育者としての実践的な学びについて指導する。(林)

幼稚園教諭としての経験をいかし、保育者としての実践的な学びについて指導する。(藤本)